

イエス

2019 年本試

問 6 イエスが安息日に病人を癒そうとしたことの説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- ① イエスは、安息日に関する律法からあえて逸脱することで、律法が人々の間で形式的にしか守られていないことを批判し、神に対して忠実であることの本来の意味を明らかにしようとした。
- ② イエスは、安息日に関する律法からあえて逸脱することで、律法が神の意志そのものとは関係のないものであることを明らかにし、あらゆる律法が不要な状態を理想とした。
- ③ イエスは、安息日に関する律法を厳格に守り通すことによって、律法に^{のつと}則った正しい信仰のあり方を、自らの行いという実例を通して周囲の人々に示そうとした。
- ④ イエスは、安息日に関する律法を厳格に守り通すことによって、人々が重視していた律法と、人にしてもらいたいと思うことを人にもすべきだとする黄金律とが一致することを示そうとした。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	16	①	3

2016 年本試

問 7 イエスの教えについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

17

- ① 愛を実践する生き方の基本として、「人にしてもらいたいと思うことは何でも，あなたがたも人にしなさい」と説いた。
- ② ユダヤ教の教典に書かれた律法を重視し，たとえ形式的であっても律法を厳格に順守しなければならないと説いた。
- ③ 旧約聖書の根幹をなす「敵を愛し，迫害する者のために祈りなさい」という教えを受け継ぎ，敵をも赦す普遍的な愛を説いた。
- ④ 神が与えてくれた悔い改めの機会として，安息日を忠実に守り，すべての労働を避けなければならないと説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	17	①	2

2016 年追試

問 6 イエスの贖罪の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- ① イエスの贖罪とは、ユダヤ教における贖罪の考え方と異なり、犠牲を伴わずに人々の罪の赦しを得るためのものである。
- ② イエスの贖罪とは、神の子の死によって、人の力だけでは逃れられない罪から人々を解放するためのものである。
- ③ イエスの贖罪とは、ユダヤ教における最後の預言者として、この世の終末の時に人々の罪を清算するためのものである。
- ④ イエスの贖罪とは、神が与えた律法そのものを無効とし、新たな愛の掟によって人々の罪を浄めるためのものである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	16	②	2

2015 年本試

問 5 次のア～ウは、様々な聖典の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

15

ア 新約聖書は、従来の律法に代わって、人類に無償の愛を注ぐ神への応答として「神を愛し、隣人を愛せ」という新たな愛の掟^{おきて}を教え、その掟を全うすることによって罪を贖^{あがな}う者は救われるという、福音を説いている。

イ ユダヤ教の聖典は、世界の創造者である神の啓示の書とされる。神が与えた律法を守ることで救いと繁栄が約束されるという契約の思想が表され、神と契約を結んだ民であるイスラエル人の歴史などが書かれている。

ウ クルアーン(コーラン)は、預言者ムハンマドに下された神の啓示を記した書とされ、聖職者と一般信徒がそれぞれに実践すべき規律を教えており、シャリーア(イスラーム法)の典拠となっている。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ② | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ④ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑦ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ⑧ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	15	⑥	3

2015 年追試

問 1 愛をめぐるイエスの教えの記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 人間の魂は，美しいものへの愛によって感覚的世界から解放される。
- ② 信仰・勇気・愛の三つを三元徳として，重んじなければならない。
- ③ 兄弟や同胞だけでなく，自らを迫害する敵をも愛すべきである。
- ④ 純粹に神を觀想し愛することで，魂を清め神と一致することができる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	11	③	2

2014 年本試

問 6 次のア～ウは，キリスト教における，人間の欲望についての考え方である。
その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。

16

ア パウロは，分かっているながら欲望のために悪を行ってしまう人間のあり方に悩み，そこからの救済は福音への信仰によるほかにないと考えた。

イ アウグスティヌスは，生まれつき人間にそなわっている自由意志により，欲望から悪を犯してしまう傾向を克服できると考えた。

ウ イエスは，欲望を抱いて女を見る者は，心のなかで既に^{かんいん}姦淫をしていると述べ，情欲を克服した善き人だけが，他者を裁くことができると主張した。

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 正 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	16	④	3

2013 年本試

問 8 愛をめぐる様々な思索について述べた次の文章を読み，文章中の ～
 に入れる語句の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ
選べ。

プラトンの説く愛(エロース)が，具体的な美への憧^{あこが}れを経て完全な美そのもの
の へと向かわせる愛であるのに対して，アリストテレスの説く真の友
愛(フィリア)は， のために にとっての善を願い，その実践へと向
かわせる愛である。他方，『新約聖書』における愛(アガペー)とは，第一に，無
条件にすべての人に与えられる無償の神の愛のことであり，次いで，それによ
って引き起こされた人間による への愛を意味する。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-------|---|-----|
| ① | a | 観 想 | b | 親しい人 | c | 自 己 |
| ② | a | 創 造 | b | 親しい人 | c | 他 者 |
| ③ | a | 観 想 | b | 親しい人 | c | 他 者 |
| ④ | a | 創 造 | b | すべての人 | c | 自 己 |
| ⑤ | a | 観 想 | b | すべての人 | c | 自 己 |
| ⑥ | a | 創 造 | b | すべての人 | c | 他 者 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 9	19	③	2

2013 年追試

問 6 次のア～ウはイエスと食に^{かか}関わる記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 17

- ア イエスは、人はパンだけで生きるものではないと語り、神を愛することと隣人を愛することの二つの実践こそが人が生きるうえで重要だと主張した。
- イ イエスは、当時の社会で差別されていた者たちと食卓をともにし、神の愛がそうした人々にも差別なく与えられるものであることを示した。
- ウ イエスは、捕われる直前に弟子たちと食事をし、人々が律法を破った罪のために犠牲となる自らの体と血を、パンとぶどう酒になぞらえた。

- ① ア 正 イ 正 ウ 正
- ② ア 正 イ 正 ウ 誤
- ③ ア 正 イ 誤 ウ 正
- ④ ア 正 イ 誤 ウ 誤
- ⑤ ア 誤 イ 正 ウ 正
- ⑥ ア 誤 イ 正 ウ 誤
- ⑦ ア 誤 イ 誤 ウ 正
- ⑧ ア 誤 イ 誤 ウ 誤

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	17	②	3

2012 年本試

問 7 罪についてのイエスの考え方の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① イエスは、神の意志に反する行為を実際に行ってしまう人間の傾向を罪とみなし、その罪からの救済が誰に起こるかは、人間を超えた神の意志によって予定されていると主張した。
- ② イエスは、たとえそれを実行せずとも、人間が心のなかで悪しき思いを抱くことそれ自体を罪とみなし、自らが罪人^{つみびと}であることを自覚し、その罪を赦^{ゆる}す神の愛を信じるよう説いた。
- ③ イエスは、原初の人間が自由意志を悪用して神に背いたことに由来する人間のあり方を罪と考え、自由意志を正しく用いて自己自身を高めることで、その罪から脱却できると説いた。
- ④ イエスは、人間が神なしでも自力で生きていけると考えている傲慢^{ごうまん}を根源的な罪であると考え、その罪は、律法を厳格に遵守することでのみ、神から義とされて赦されると主張した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	10	②	3

2012 年追試

問 5 驕る富者に対して批判的であったイエスは富と幸福との関係について、次のように述べている。イエスの神の国についての考え方を踏まえ、この文章の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8

さて、イエスは目を上げ弟子たちを見て言われた。「貧しい人々は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。今飢えている人々は、幸いである、あなたがたは満たされる。今泣いている人々は、幸いである、あなたがたは笑うようになる。……しかし、富んでいるあなたがたは、不幸である、あなたがたはもう慰めを受けている。今満腹している人々、あなたがたは、不幸である、あなたがたは飢えるようになる。今笑っている人々は、不幸である、あなたがたは悲しみ泣くようになる。……」

(『ルカによる福音書』)

- ① イエスは、富が幸福をもたらすという現世の価値観を逆転させ、この世で富を持っている人は、既に神から恩寵を受けているため、もう神の国に行くことができないと述べている。
- ② イエスは、富が幸福をもたらすという現世の価値観を否定し、将来、貧富の差が解消された国家が実現し、今は富を持たない人々も幸福になることを約束している。
- ③ イエスは、富が幸福をもたらすという現世の価値観を逆転させ、この世の富に満足している心の状態のままでは、その人は神の国に入ることはできないと主張している。
- ④ イエスは、富が幸福をもたらすという現世の価値観を否定し、現世において富を持たない人に対してのみ、救済へ至るための実践的な生活規定を教えている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	8	③	3

2011 年本試

問 5 イエスの説く神の国の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① ローマ帝国による政治的支配を打破し，神から遣わされた救い主によって立てられる国
- ② 神に選ばれた民であるユダヤ人およびキリスト教への改宗者たちが，入ることを約束された国
- ③ 自らの罪を悔い改めて，互いに愛し合う人々の間に，精神的な出来事として実現する国
- ④ 生前，神から与えられた戒めを守った者が，死後，平安の地として入ることを約束された国

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	9	③	2

2010 年追試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

イエスはユダヤ教の を批判した。ブッダもまたバラモン教の身分制度や祭式主義を批判した。いずれも当時の社会秩序と対決し、言葉だけではなく生き方をも通じて分け隔てのない思いやりを示した。

- | | | | |
|---|---|----------|--------|
| 5 | { | ① 人間中心主義 | ② 汎神論 |
| | | ③ 二元論 | ④ 律法主義 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	5	④	2

2009 年追試

問 7 新約聖書の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 新約聖書の「新約」とはイエスがもたらした神と人間との新しい契約であり，旧約聖書の律法は完全に否定されている。
- ② 新約聖書ではイエスが救い主キリストであるという信仰と，イエスの十字架上の死による神からの罪の赦^{ゆる}しが語られている。
- ③ 新約聖書では神の国が到来したこと，また神の国とローマ帝国などの地上の国との戦いが終結したことが述べられている。
- ④ 新約聖書では神の無償の愛であるアガペーと，それにこたえて真の實在としての神へ向かう愛であるエロースとが説かれている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	11	②	3

2008 年追試

問 5 新約聖書に描かれたイエスについての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 「天地が消え失せるまで，律法の文字から一点一画も消え去ることはない」とあるように，ユダヤ社会の刷新には律法の遵守が不可欠と考えた。
- ② 「私があなたがたを愛したように，あなたがたも互いに愛し合いなさい」とあるように，相互の愛を実践するよう説いた。
- ③ 人間はすべて，理性と道德上の能力において本来同等であるから，隣人愛に満ちた関係を築くべきだと説いた。
- ④ 預言者の精神を受け継ぎ，当時のユダヤ社会に真の悔い改めを求め，ヨルダン川で，身分の差別なく人々に洗礼を授けた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	9	②	3

2007 年追試

問 7 新約聖書に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ
選べ。

11

- ① マタイ，マルコ，ルカ，ヨハネの四福音書には，イエスこそが救い主であるとする信仰に基づき，イエスの生涯と言葉が記されている。
- ② 「新約」とは，イエスによってもたらされた神と人との新しい契約のことであり，神の愛であるエロス，神への愛であるアガペーが記されている。
- ③ 福音書を始め，イエスの弟子たちの活動を記した使徒言行録，パウロの書簡など，すべてがヘブライ語で記されている。
- ④ モーセが古代イスラエルの民を率いてエジプトを脱出する途中，十の^{おきて}掟を神から授けられたという歴史が記されている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	11	①	3

2006 年追試

問 7 イエスの活動に関する記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① すべての人に平等にそそがれる，神の無条件の愛であるアガペーと，それに基づく積極的な隣人愛を説いた。
- ② 弟子たちとともに町や村を巡り歩き，当時の社会で**罪人**とされていた人々と交わり，病気の人々を癒した。
- ③ 神の公平と正義が実現される神の国の到来が近いことを，福音(喜ばしい知らせ)として人々に伝えた。
- ④ バプテスマのヨハネとともに活動し，ユダヤ人国家を独立させるべく，ローマ皇帝に対し武力による反乱を企てた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 7	10	④	2

2005 年本試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

新約聖書をみると、イエスは、パリサイ派や が律法を遵守していると驕り
たかぶり、病者や貧者を罪人^{つみびと}と見下していたことを戒めている。自らの義を誇るこ
とは、律法の根本にある愛の教えに反してしまうからである。

- ① サドカイ派 ② エレア派
③ スナナ派 ④ アタナシウス派

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	2	①	2

2004 年本試

問 4 イエスの説いた愛の思想として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① 我々に親しい友人だけでなく、我々を嫌い敵対する者をも愛するようにしよう。自分を愛してくれる者を愛するのは当たり前であり、自分に敵対する者をさえ愛すべきなのである。
- ② 困っている人から哀願されたとき、我々はその人に同情し、その願いを聞き届けたいと思う。実現が難しくとも、我々はその^{あわ}憐れみの情を大切にすべきである。
- ③ 道端にたたずむ流浪者のような、自分にとって疎遠な人などよりも、我々に親しく優れた人とともにいる方がよい。つまり同じ社会に生きる親しく優れた人々こそ我々は愛すべきである。
- ④ 友人が暴漢などに襲われている場合、我々は速やかにその友人に手を差し伸べるべきである。たとえ命を落とすことになっても、友人を助けることは優れた愛である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 4	5	③	3

2002 年追試

問 6 平等観にもとづいたイエスの言行についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

7

- ① 当時の社会で嫌悪されていた徴税人や罪人と食事を共にするなど、当時のユダヤ教の社会規範に反してまでも、被差別者と共に生きようとした。
- ② 「何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにしなさい」と命じ、相手の立場に身を置いて人に接するように教えた。
- ③ 自らメシア（キリスト）と称して、すべての人が生まれながらに負っている罪から救われるには、十字架の贖^{あがな}いを信じるしかないと主張した。
- ④ 神は律法を守った人だけを祝福するのではなく、おちぶれて帰還した放蕩^{ほうとう}息子を喜び迎える父のように、無償の愛を万人に及ぼしていると教えた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	7	③	3

2000 年本試

問 5 倫理を専ら社会的な規制や規範として語り、それらを形式的に守ることのよしあしだけを論じるならば、我々は社会のあり方と自己との結びつきを断ち切り、人と人との関係のあり方を見失うことになるのではないだろうか。このような問いかけに関して、先哲たちの営みはそれぞれどのようなものであったか。彼らの営みとして最も適当なものを、次の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選べ。ソクラテスについては に、孔子については に、ブッダについては に、イエスについては に答えよ。

- ① 若いころから様々な知識や技能を習得し、博識の学者となったが、何でも知ることをよしとしたのではなく、知るということは知っていることを知っていることとし、知らないことを知らないこととすることだと教えた。
- ② 多神教を背景とする部族社会に生じた不公正な富の配分や利己主義の蔓延を批判し、富裕な支配者層からの迫害を受けながらも、終末の審判を行う唯一神への信仰を説き、その信仰に基づく共同体の建設に努めた。
- ③ 苦しみ、傷つきながら生きている人々の声に聴いて、自己中心的な生き方を越え互いに分け隔てなく愛し合うことを教え、日常的であるが故に形式的な遵守にかたむきがちであった規範を根本的に問い直した。
- ④ 人が苦しみを厭いながら苦しみを重ねていくのは、すべては依存しあって成立しているという真理について無知であるためだと考え、この真理を正しく知り他者に対しても慈しみの心を起こすべきだと諭した。
- ⑤ 人間は社会的動物であると考え、よき市民がもつべき倫理的な徳は、過多や過少に陥らない行為を反復することによって形成されると論じ、現実的な視点から社会において友愛や正義が果たす役割を考察した。
- ⑥ 秩序の解体の危機に接して、親しい人への自然な愛を人間関係の基本として秩序に主体的に従うことが追求されるべきだと考え、正しい人が人々の上位に立つならば民衆は和合してその人に付き従うと説いた。
- ⑦ 苦行を通じて自己と絶対者との一体化に至ることが一切の苦悩からの解放の道であるという教えに対して、人生の苦しみの原因は自己に執着することにあると考え、恒常不変の自我という存在を否定した。

- ⑧ よく生きることは正しく生きることであるという前提に立って，国法に従うことを正しいと自ら同意したのであるから，その同意を破るべきではないと述べ，不当な判決には服すべきではないと説く友人の言葉を退けた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第1問	問5	5	⑧	3
第1問	問5	6	⑥	3
第1問	問5	7	④	3
第1問	問5	8	③	3

2000 年追試

問 1 文中の に入れるのに最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

ゴータマ・ブッダ，孔子，ソクラテス，さらには を批判したイエスは，あらゆる人々に共通のよく生きるための知恵を求めた。彼らにとって，知は倫理的価値観に裏付けされていなければ，無意味なものであった。彼らの説いた正しく生きるための知恵は，個人の道徳を確立するばかりでなく，よりよき社会を実現することをも目指すものであった。

- ① 観想的な生活 ② 万人祭司説
③ 律法主義 ④ 懐疑論

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	2	③	2